子どもの「やりたい」気持ちを発揮させる環境づくり

パート1 「乳児編」 パート2 「幼児編」

瀧川 光治(大阪総合保育大学)

k-takigawa@jonan.ac.jp

- 環境づくりの本 ひかりのくに「保育とカリキュラム」連載(2016.4~2019.3)がまとまったもの
- ・ 園内研修の本 園内研修の具体的な実践例







はじめに 子どもの「やりたい」気持ち

(=学びに向かう力:エンジンに火をつける)

By 福井県幼児教育支援センターの研修資料を、 瀧川が改編

トキメキ (楽しさ・面白さ、心の動き、 こうしたいという思い)

字びに向 か<u>う力</u>

道路

(子どもの遊び・活動や経験の内容)

気づき ・発見 できたこと 知識・ 技能 (気付き・ (経験) ハンドルを握る

= 行為主体性(agency)

自覚化

子どもなりの 見方・考え方、発想 を働かせる

> ヒラメキ イメージ

資質·能力

試行錯誤· 工夫) 判断力 表現力

【動画から考えてみましょう1】

・熊本県の私立幼稚園「荒尾第一幼稚園」のYouTube動画「遊びの中の学び」(2分弱の動画)を見て、 子どもの「やりたい」気持ちって何だろう? 誰が車のハンドルを握っているか? 環境構成、環境づくりの工夫って何だろう? ということを考えてみましょう。



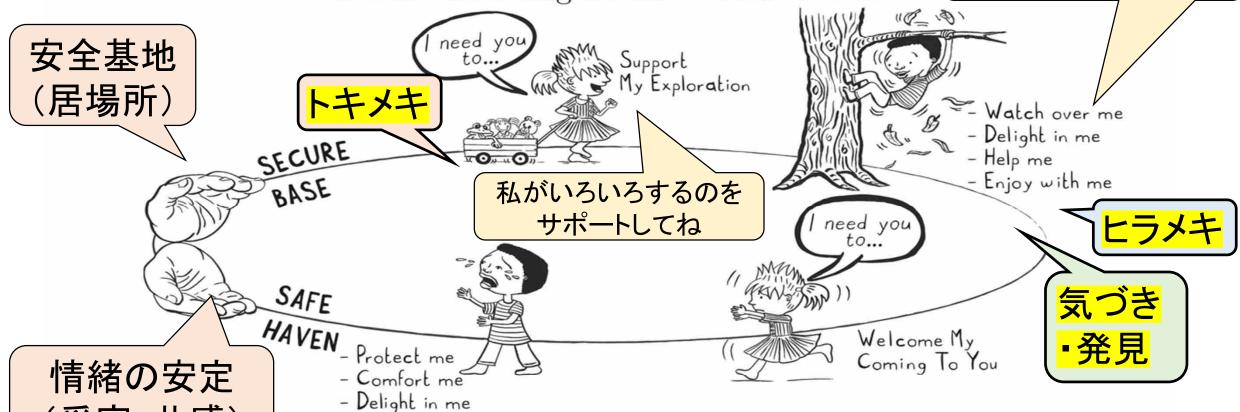
2. 「安心感の輪」という捉え方

トキメキ

Circle of Security®

Parent Attending To The Child's Needs

見守ってね 私と一緒に楽しんでね



©2016 Cooper, Hoffman, & Powell www.circleofsecurity.net

- Organize my feelings

(受容•共感)

ALWAYS BE: BIGGER, STRONGER, WISER & KIND.
WHENEVER POSSIBLE: FOLLOW MY CHILD'S NEED.
WHENEVER NECESSARY: TAKE CHARGE.

3. トキメキ、ヒラメキ、気づき・発見に注目しよう



どんなことに<mark>トキメキ</mark>ながら、遊んでいるのだろう?

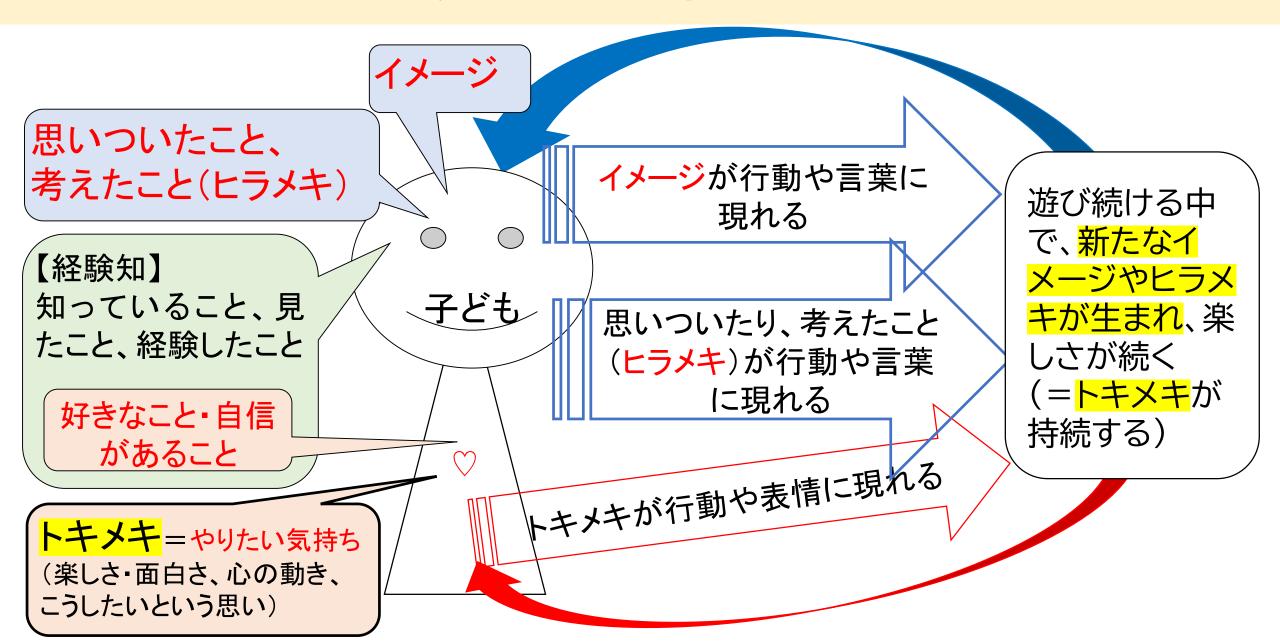
遊びながらどんなヒラメキが生まれてくるだろう?

遊びながら、どんな<mark>気づき・</mark> 発見が生まれるだろう? (=新たな経験知)

幼児期は体験・経験を通して学ぶ

- 「体験学習/経験学習」

4. 子どもの遊びの実践的な理解(内面に注目する)



パート1 乳児編

繰り返し遊ぶことを通して育つ保育環境を意識して

012歳児にとっての「やりたい気持ち」

- •「やったことがある」「しっている」という<mark>安心感</mark>から生まれる やってみたくなる気持ち
- •「できた! ほら、また、できた!」という<mark>嬉しさ</mark>を土台に繰り返したくなる気持ちと、それを受け止めてくれる保育者の存在
- -「なにこれ!? おもしろ~い!」という<mark>心が弾んで</mark>、「もうー回」「またやりたい!」と<mark>何度も繰り返したくなる</mark>気持ち
- ■「こんなやり方でもできるかな?」とちょっとやり方を変えて<mark>試したくなる</mark>気持ち

トキメキ

気づき ・発見 できたこと

トキメキ

ヒラメキ イメージ

【考えてみましょう1】(1歳児クラス 11月の保育環境)



【環境づくりの発想】 絵本を活用したごっこ遊びの環境

- 絵本「しろくまちゃんのホットケーキ」が好きな子どもたち。
- 繰り返し読むことで、お話のイメージも湧いてきている。



ごっこ遊び(ままごと)で、絵本の世界を再現できるような「遊び環境」があったらどうか? __



絵本を活用したごっこ遊び(ままごと) の環境づくり

(=再現して遊ぶための環境)



『保育所保育指針』第1章総則(4)保育の環境より

- ア 子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し、様々な経験を積んでいくことができるよう配慮すること。
- イ 子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育所の設備や環境を整え、保育所の保健的環境や安全の確保などに努めること。
- ウ 保育室は、<mark>温かな親しみとくつろぎの場</mark>となるとともに、<mark>生き生きと活動できる場となるように配慮すること。</mark>
- エ 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境を整えること。

⇒ 「自発的に関わり、活動が豊かに展開される環境」 「温かな親しみとくつろぎの場」「生き生きと活動できる場」

『保育所保育指針』第1章総則 (3)保育の方法より

イ 子どもの生活のリズムを大切にし、健康、安全で情緒の安定した 生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えること。

オ 子どもが自発的・意欲的に関われるような環境を構成し、子ども の主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること

⇒「健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境」 「自己発揮できる、自発的・意欲的に関われるような環境」

体を動かすことを楽しいと感じられる環境 様々な動きができる環境

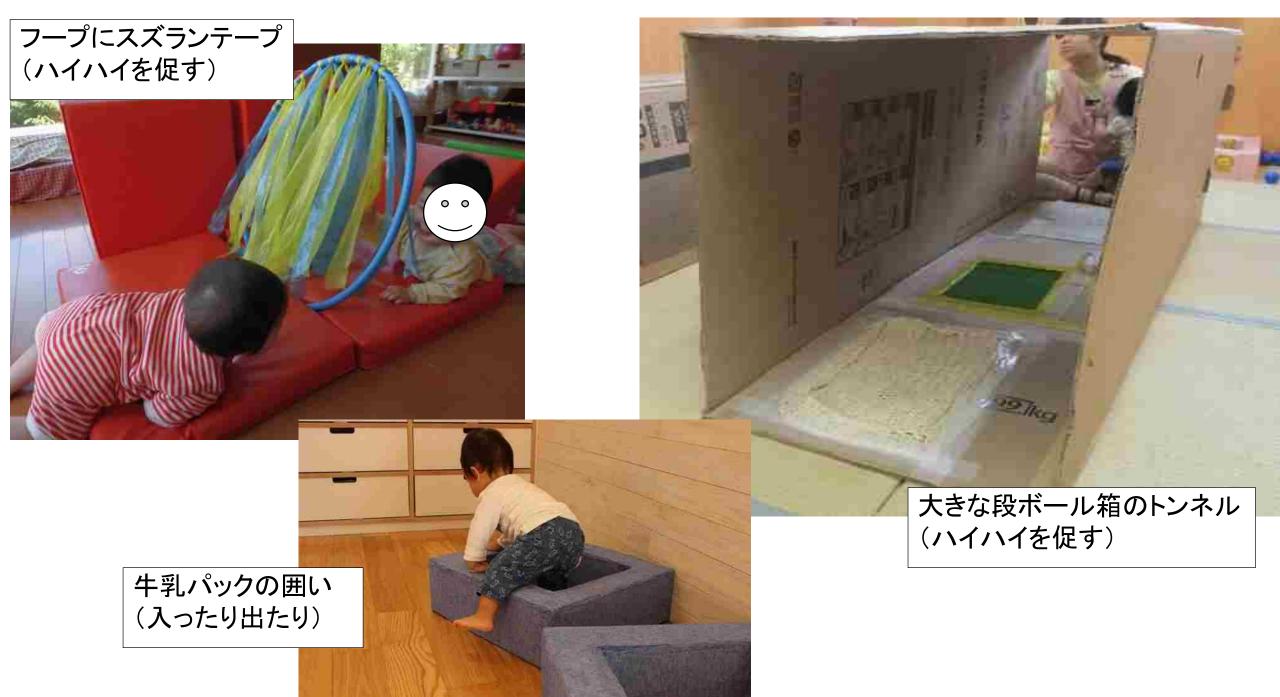
粗大運動

○ 乳児期の子どもにとって、身体発達(運動)を促す環境には どのようなものがあるでしょうか?

<ねらい>

乳児

- 伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの<u>運動をしようとする。</u>
- 1歳から3歳未満児:
 - •明るく伸び伸びと生活し、<u>自分から体を動かすことを楽しむ</u>。
 - 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。





手を伸ばして、 背伸びして遊ぶ

室内でハイハイや歩行を促す

引っ張って遊ぶ

触って遊ぶ環境、手先・指先の感触・感覚 手先・指先の様々な動きを促す環境

微細運動

○ 乳児期の子どもにとって、手先・指先の感覚を促す環境やポットン落とし(入れ込み遊び)には、どのようなものがあるでしょうか?

くねらい・内容>

- ・玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。
- 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。
- 生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気付き、感覚の働きを 豊かにする。
- 安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。

布に色々な感触を感じられる素材を貼る



開けたり、閉めたりできるウェットテッシュのフタ中には、ビニール袋や浴衣生地など色々な感触を感じられる素材を貼っておく



壁に広告紙や包装紙を貼って、ビリビリにして遊ぶ環境





壁に電卓、CD、チェーン、ヒモ、貝殻などを 貼り付けて、いじって遊べる環境



段ボールにスポンジや人工芝などを貼り付けて、 手で触ったり、乗って歩いたりできる環境



ペットボトルのキャップを開けたり、閉めたりして遊ぶ環境



ペットボトルのキャップを開けたり、 閉めたりして遊ぶ環境



S字フックをひっかけて遊ぶ環境



スイッチやカギをいじって遊ぶ



小さなトングを使って移し替え遊び



段ボールに、大きなボタンとヘアゴム(伸ばしてひっかけて遊ぶ)





ぽっとん落とし(入れ込み遊び)や引っ張り出す遊びの環境







段ボールに円形の穴を空け、 100均で購入した排水溝の ゴム製のフタを取り付ける

ペットボトルのキャップを つないで細長くしたものを 入れて遊ぶ





パスタを入れる容器に プラスチック製のチェーン を、両手を使って入れる

> 小さなペットボトルに ストローを半分の長さに 切ったものを入れ込んで遊ぶ (2歳児クラス)









ペットボトルにスポンジを入れ込む (押し込む動き) 【環境づくりの発想】 いろいろなバリエーションを考えよう

ポイント1 1種類ではなく、バリエーションを考える (例) ぽっとん落とし(入れ込み遊び)でもいろいろある

ポイント2 子どもの月齢差・発達の差に応じる

→ バリエーションがあることで、難易度の違いがある

ポイント3 可変性(変化できるものは何か)を考える

(例) ぽっとん落としなら、「容器の形・サイズ」「穴の形・サイズ」 「入れるもの(ボール、チェーン、松ぼっくり、スポンジなど)」

【考えてみましょう2】(可変性でバリエーションを広げよう)



ごっこ遊び(ままごと、見立て遊びなど)の保育環境

- 乳児期の子どものごっこ遊び(ままごと、見立て遊びなど)を見ると、どんな姿がよくみられるでしょうか?
- 〇 乳児期の子どものごっこ遊び(ままごと、見立て遊びなど)を 支える保育環境には、どのようなものがあるでしょうか?

ままごと・ごっこ遊び(見立てる、つもりになる)力の育ちと、保育環境

1歳児





【考えてみましょう3】(遊びのアイテムを増やす、発想を広げる)

今は洗面器とタオルがあることで、 「人形をお風呂に入れる遊び」をしています。

「人形を使った遊び」をもっといろいろしていくとしたら、どんな物的環境(遊びのアイテム)があると遊びが広がるでしょうか?

★ 発想を広げるために、この子の遊び 限定ではなく、もう少し上の年齢や5歳児も 含めて考えてみましょう。





ままごとコーナーをどう作るか② (オープンキッチンとして作る)





ままごとコーナーをどう作るか③ (壁に、ワーヤーラックをつけて使う) 何を置くか① (調味料などを置く)



おふろごっこ遊びのスペースに、洗面器、お風呂イス、シャンプーボトル、脱衣かごを物的環境として用意。

シャワーコーナーに、 シャワーヘッド部分を複数用意する (取り合いにならないように)



コンビニごっこの空間(場)を作る クローズアップ





ガソリンスタンドごっこ

割りばしと洗濯ばさみで作ったトング(1歳児クラス11月)



【環境づくりの発想】 ごっこ遊び(ままごと)の環境づくり

ポイント1 料理を作ることを楽しむのか、移し替えたり、並べたりするのが楽しいのかを捉える

ポイント2 子どもの月齢差・発達の差に応じて、見立てられるものを

→ イメージを持って料理を作ることを楽しむのは、2歳前後くらいから(言葉や描画の発達と関係がある)

ポイント3 生活再現遊びがベース

(例) 料理をお皿に盛りつけるだけでなく、料理を作るプロセスを楽しむようになってくる/電子レンジに入れてチンする/お店に買い物に行く/お風呂に入る/掃除機で掃除をするまねっこなどもごっこ遊びになる

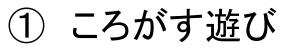
遊びを支える色々な保育環境

<内容>

- ② 生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気付き、感覚の働きを豊かにする。
- ④ 玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。
- ①水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。
- ③生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。

<内容の取扱い>から

- ① 玩具などは、音質、形、色、大きさなど子どもの発達状態に応じて適切なものを選び、遊びを通して感覚の発達が促されるように工夫すること。
- ② 身近な生き物との関わりについては、子どもが命を感じ、生命の尊さに気付く経験へとつながるものであることから、そうした気付きを促すような関わりとなるようにすること。
- ④ 身近な自然や身の回りの事物に関わる中で、発見や心が動く経験が得られるよう、 諸感覚を働かせることを楽しむ遊びや素材を用意するなど保育の環境を整えること。





Smakoncollo



細長いダンボール箱の活用 (棚の背面の利用)

① ころがす遊び(ボール以外)



ペットボトルの活用

透明チューブの活用



【考えてみましょう4】(環境の可変性の発想)

牛乳パックを長くつないだものを2本用意して、 平行な2本の溝の部分を使って転がし遊び



この保育環境をアレンジ していくとしたら、 どのような発想があるでしょうか?

変化させることができる要素は?

- ・転がすもの(ボール)
- 坂道(コース)

のほかにどんなものがあるでしょうか?

② チャックを使った遊び



ついたて(遊びスペースの仕切り)の部分に、チャック遊びの環境を用意



② チャックを使った遊び、棚の上の利用(遊ぶためのスペース)

- チャック、ボタンをはめたり外したりして遊ぶ
- ・中から身近な生き物などのイラスト





③ 棚の利用

- おもちゃ棚を、取り出しやすぐ「小さなかご」等を利用する
- 棚には目かくしのために、カーテンを付けておく (遊ばないときには、カーテンで隠す)



棚でも入れ込み遊びができるような環境の工夫



④ 子どもの好きな絵本を使って一壁の利用





④ 光の不思議を感じる環境

段ボールに窓を空けて、 色セロハンを光が通過







⑤ 鏡に映るオモシロサ

鏡の前で 集まって楽しむ

料理のボウル(金属製)に映る自分の姿を見て不思議さを感じる





⑥ 音遊びの環境



⑦ 自然に触れる環境

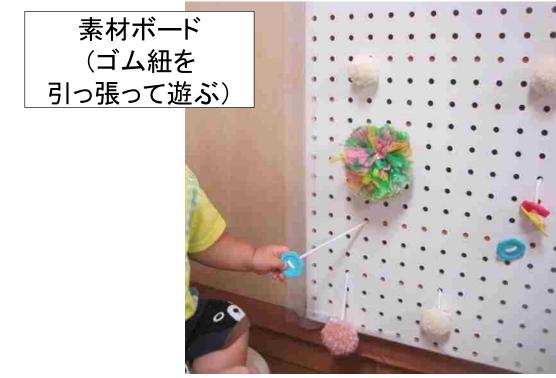


花びらを紙に挟んで 木づちでたたき染め遊び



⑧ その他いろいろ







開けたり閉めたり(何かな?)

【環境づくりの発想】 3歳未満児のねらい・内容を活用しましょう

ポイント1 自分でいろいろ試せるような環境を用意しましょう。 (例) 転がす遊びでもいろいろあります

ポイント2 いろいろな光や音にかかわる保育環境 (例) 自分で鳴らしたり、あれ?!(不思議)と感じたり・・・

ポイント3 乳児でも生き物や自然にかかわる保育環境

ポイント4 生活スキルの遊び環境を用意する

パート2 幼児編「10の姿が育まれる保育環境を意識して」

- ・3歳児「一人遊び」の充実から、つながって遊ぶ世界へ
- 保育室のいろいろな環境づくりや園庭環境づくりの工夫
- •4,5歳児「10の姿」の視点で保育環境を考えてみましょう

幼児にとっての「やりたい気持ち」

- 「一人で思う存分に楽しみたい」「友達と一緒に遊びを楽しみたい」という楽しみたい気持ち
- 遊んでみる中で、いろいろなヒラメキやイメージなどのアイデアが湧いてきて、それを実際にやってみる嬉しさ
- ・自分でやってみたことが形となって、変化していく(進化していく)面白さや新たな気づき・発見が生まれる面白さ
- •「へぇ~、こんなものもあるのか?」「○○ちゃんのやっている」 こと面白い!」と、新たな世界が広がっていく面白さ(経験知の) 広がりや深まり)

トキメキ

ヒラメキ イメージ

気づき ・発見 できたこと

トキメキ

1. 3歳児の遊び① - 1人遊びの世界

・自分なりのイメージを 持って遊び始める

イメージを持って遊べる物的環境

トキメキは? ヒラメキは? イメージは? 気づき・発見は?



土、砂、水などの自然物などに関心が生れ、見たり触れたりして、好奇心を発揮する

→ 泥遊びができる環境

なんでも触って確かめてみることが できる場や物的環境

1. 3歳児の遊び② - 一緒の場を楽しむ

大人との関係から、子ど も同士の関係に広がっ ていく かかわりあって遊ぶ ことができる場や、 ごっこ遊びの日常的 な環境

同じことをしたい。 いっしょに遊びたい



周りの子どもに 興味を持ち始める ゆう

1. 3歳児の遊び③ — やりとりしながら遊び合う



気の合う友達ができてくると、 一緒に活発に遊ぶようになる

→ 一緒の思いやイメージを持って 遊ぶことができる場や環境

語彙が増え、目分の思いを言葉 にして伝えたり、一緒に遊びを 進めていくようになる トキメキは? ヒラメキは? イメージは? 気づき・発見は? 2. ごっこ遊びの環境①

見立てられるもの



こんな環境があると、どんなイメージを働かせながら遊ぶでしょうか?

2. ごっこ遊びの環境②

こんな環境があることで、どん なイメージを働かせながら遊 んでいるのでしょうか?

見立ててイメージが膨らむもの (自分たちで作ったマカロン、ケーキ)





見立ててイメージが膨らむもの (パフエ、焼きそば)



3. 積み木遊びの場(4歳児)

遊びの中で、どんなイメージやヒラ メキが生まれているでしょうか?





4. 作って遊ぶことのできる場(4歳児)



5. 制作のための環境づくり





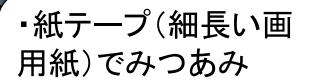
造形活動ができる素材 を自由に使えるように





7. その他いろいろ(1)

うくもの、 沈むものを 比べられる環境



・折り紙や広告紙を 小さく切っておいておく







においを 感じる環境

7. その他いろいろ②

遊びの足あしがわかる環境 (残しておくことで、他児の刺激にもなる)





- •「いろ」の科学絵本と同じことを 試せる環境
- •遊びの足あとがわかる環境



園庭の「色水遊び」「泡遊び」の場

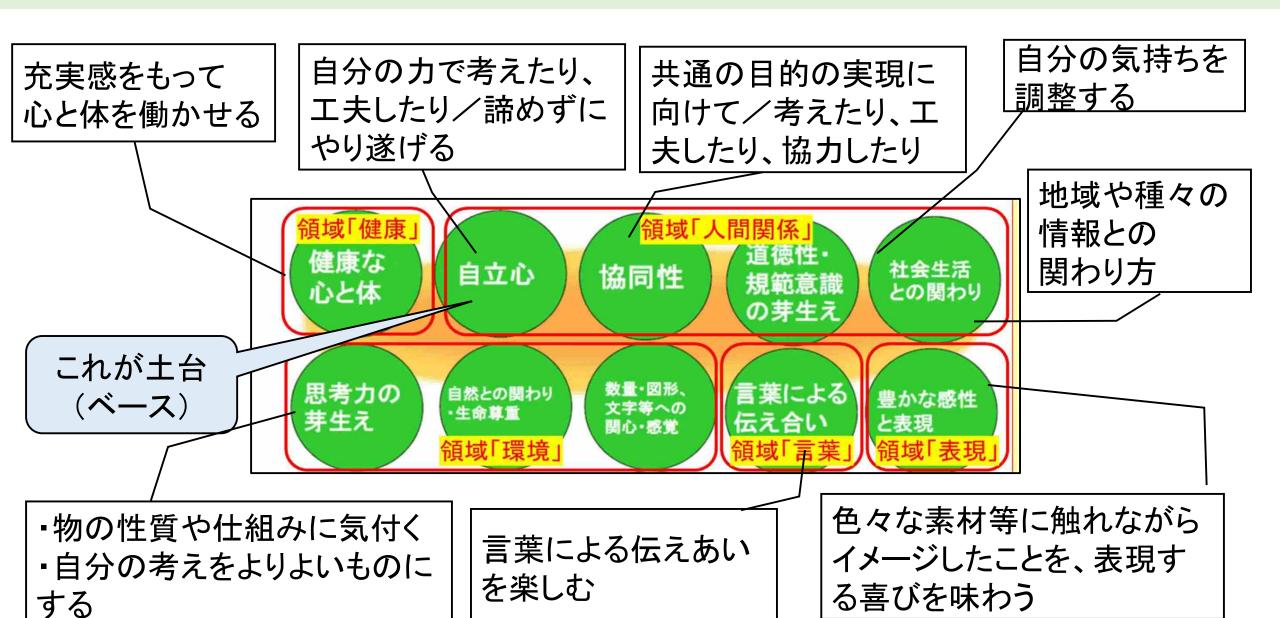
* テントとテーブルで遊びの拠点を作る

*選択の幅を大きくしている





9. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)のポイント



健康な心と体

どんなトキメキ(心の動き・ 思い)が生まれている? ヒラメキやイメージは?

- ・1つで遊び飽きたので、2つ回して遊ぶ年長児
- ・粘り強く何度も挑戦する中で自立心の育ちも





ぐにゃぐにゃコースのリレー遊び (自立心や協同性の育ちも)

日常的に体を動かして遊ぶことができる環境 (多様な体の動かし方ができる)

協同性 思いやイメージ、目的がつな がって遊びを進めていける環境

砂場にある区切り板を深いところまで掘っ て取り出そう

(共通の目的の実現に向けて、協力しあう)





協力しながら自分たちで長縄とびで遊ぶ

どんなトキメキ(心の動き・思い)が生まれている?

どんなヒラメキやイメージが共有され ている?

思考力の芽生え①

物の性質や仕組みに気付く 自分の考えをよりよいものにする



空気砲の原理で、ロケット発射

試してみる環境

作ったものを改 良しながら遊び を進める環境 懐中電灯の光をいろいろ試してみる

紙コップで タワーづくり



どうやったら、 うまく積めるか など試行錯誤 が生まれる環境



どんなトキメキ(心の動き・思い) が生まれている? 新たに、どんなヒラメキやイメージ が生まれてくる?

思考力の芽生え②

ペットボトルのトンネルで水遊び

いろいろな工夫を みることができる 環境

LaQで色々な形の コマ(コマ置き場)



試してみる環境

自然とのかかわり・生命尊重①



どんなトキメキ(心の動き・

自然とのかかわり・生命尊重②



科学絵本をきっかけに、 野菜のヘタなどを水栽培し始める

意識的・継続的な観察ができる環境

どんなトキメキ(心の動き・思い)が 生まれてくる? どんなことを感じたり、気付いたり、 発見するのだろう?

- •ミミズを畑で見つけたことから始まった保育
- 科学絵本や図鑑で調べながら進んでいきました。



生長・成長の命を感じて リアルな体験ができる環境

自然とのかかわり・生命尊重③



拾った落ち葉を、子どもたちの感性で分類

冬の自然コーナー 水やお湯につけて色水遊びや香水づくり どんなトキメキ(心の動き・思い) が生まれてくる? どんなことを感じたり、気付いたり、 発見するのだろう?

命の生の体験(リアルな体験)ができる環境 自然に関する感性・感覚の育成につながる環境



数量・図形、標識・文字等への関心・感覚①



数量・図形、標識・文字等への関心・感覚②

「どんぐりあめ」と文字スタンプを押す

積み木やカプラを積み上げた高さを、 紙テープを使って比べる



どんなトキメキ(心の動き・思 い)が生まれてくる? どんなことを感じたり、気付 いたり、発見するのだろう?

豊かな感性と表現①



子どもたちの発想(ヒラメキ・イメージ)が生まれるような多様な素材・材料



秋の自然物(素材)を組み合わせて、自分なりに色々創る

どんなトキメキ(心の動き・思い)が生まれている? 新たに、どんなヒラメキやイメージが生まれてくる? どんな気づきや発見があるのだろう?

豊かな感性と表現②



できるような調味料容器

花びらをすりつぶして、 きれいな色を作ろうとする(感性) どんなトキメキ(心の動き・思い)が生まれている? 新たに、どんなヒラメキやイメージが生まれてくる? どんな気づきや発見があるのだろう?

> 自分たちで、歌やダンスを表現しながら 遊びを進めていける環境



コンサートごっこ(場だけでなく、コンサートごっこの流れなどの物 語(ストーリー)性や状況設定を子どもたちとともに作り出していく)

【動画から考えてみましょう2】

ということを考えてみましょう。

・熊本県の私立幼稚園「荒尾第一幼稚園」のYouTube動画「創造と想像」(4分20秒の動画)を見て、 どんな10の姿があったか? 子どもの「やりたい」気持ちって何だろう? 自園でも取り組めそうなことって何だろう?

10. 10の姿を活かして、環境構成の工夫をする①



こんな環境が あると、どんな 気づき・発見が 生まれるで しょうか?

こんな環境 があると、ど んなイメージ が生まれる でしょうか? (数量・図形)→ <mark>はかりがあったら</mark>、砂を いっぱい詰めたものを図ったりできるの ではないか?

(豊かな感性と表現)→ 色水遊びも砂場近くに置いたら、見立て遊びが広がるのではないか?

10. 10の姿を活かして、環境構成の工夫をする②



(自然とのかかわり・生命 尊重)→ もやしやブロッコ リーの種を水栽培の保育 環境を保育室に置く。 子どもたちは、生長してい く姿を見て命の尊さを感じ てくれるだろうか?

こんな環境があると、 どんな<mark>気づき・発見</mark>が 生まれるでしょうか?

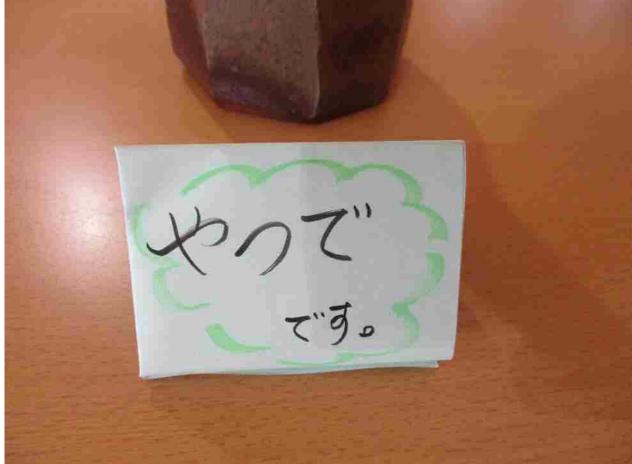
クイズ① なんの植物でしょうか?



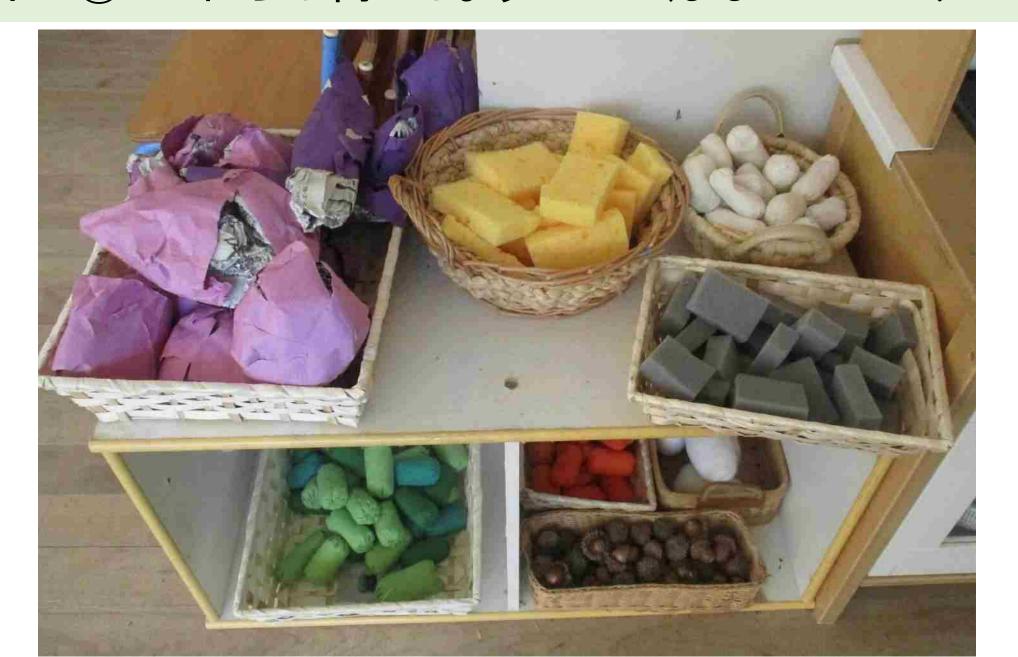


クイズ① なんの植物でしょうか?(答え)





クイズ② これらは何でしょうか? (ままごとコーナー)



クイズ② これらは何でしょうか? (答え)



クイズ③ この遊びを支えているのは、どんな保育環境?



どんなトキメキやヒラメキがあったのだろう?



クイズ③ この遊びを支えているのは、どんな保育環境?(答え)



砂場横のテーブルに 絵の具

砂場横のテーブルで 植物での色水遊び



泥団子に色水を染

み込ませたら・・・

【考えてみましょう5】 育てたいことと、環境構成は合っている?

子どものアイデアやイメージを豊かに育みたいとき、どちらがよいでしょうか?





作る素材や物が多様にあって、つくる方法や手順(やり方)がいるいろあると、出来上がってくるものも多様になる。

つくる素材 (もの)

×

つくる 方法・手順



つくるもの(完成形)

【動画から考えてみましょう3】

- ・熊本県の私立幼稚園「荒尾第一幼稚園」のYouTube動画 「年中組保育室の環境~新年度4月5月上旬」(6分20秒の動画)を見て、
 - * この園はどんなことを育てたいと思って、 動画のような保育室環境を作っているのだろう?

* 自園・自クラスでは、何にこだわって保育室環境を作りますか?

ということを考えてみましょう。

おわりに

1. 今日の学びの中で、生かしていけそうなものは何がありましたか?

2. 乳児クラスで、遊びがマンネリ化しないために、どんな環境づくりが大切でしょうか?

3. 幼児のクラスで、個々の一人遊びは充実していますか? 友達と関わりあって遊ぶ様子はどうでしょうか? それらを充実していくためには環境づくりを具体的にどうすればいいでしょうか?